

〈対策のポイント〉

設計技術に関する各種技術情報の収集、調査及び検証を行い、**効率的かつ適切な事業執行に資する設計基準等の整備**を行います。

〈政策目標〉

- 担い手への農地の集積・集約化等を通じた農業競争力の強化及び高収益作物への転換等を通じた産地収益力の強化
- 頻発化・激甚化する災害に対応した施設整備による農業・農村の強靱化
- 農業水利施設の戦略的な保全管理

〈事業の内容〉

〈事業イメージ〉

1. 土地改良事業における設計基準等の整備

農業農村整備事業をとりまく経済社会情勢の変化等に対応し、効率的かつ適切な事業執行に資するために、各種技術情報の収集、調査及び検証を行い、設計基準等の整備を行います。

事業背景・課題

- ・土地改良事業の施設の設計においては、設計の考え方を体系的に整理し、設計の実務に関する情報を提供することで、効率的かつ適切な事業執行に資するため、設計基準等を整備してきたところ。
- ・しかしながら、地球温暖化により頻発する豪雨や大規模地震等の発生を踏まえ、リスクに対して事前に備えておくべき早期の機能回復及び被害軽減に係る対策を含んだ設計や、ライフサイクルコストの観点からも経済的となる施設の建設費用だけでなく、ストックマネジメントの概念や戦略的な保全管理の考え方を反映した設計が求められている。
- ・さらに、新技術の開発・普及や関連する技術基準の改定等の経済社会情勢の変化を適時、適切に設計基準に反映させていく必要。

〈事業実施主体〉

国（国費率：10/10）

期待される効果

農業農村整備事業をとりまく経済社会情勢の変化等に対応した設計基準等を整備することで、効率的かつ適切な事業執行に資することが可能。